

様式第8-2号  
(様式第8-2号-1)

※農地調整室受付	※農林事務所受付	※農業委員会受付

農地法第5条第1項の規定による許可申請書

下記のとおり転用のため農地(採草放牧地)の権利を設定(移転)したいので、農地法第5条第1項の規定により許可を申請します。

令和 年 月 日

矢吹町農業委員会会長様

記

1 申請者の氏名、住所及び職業

当事者の別	氏名	印	職業	現住所
譲受人 (被設定人)	○○ ○○		銀行員	福島県西白河郡矢吹町△△○○番地
譲渡人 (設定人)	△△ △△		農業	福島県西白河郡矢吹町××□□番地

【代理人】【行政書士の氏名、行政書士の印、職業＝行政書士、事務所の所在地を記載すること。】

(様式第8-2号-2)

2 許可を受けようとする土地の所在、地番、地目、面積、利用状況、普通収穫高及び耕作者の氏名

郡市町村名		西白河郡矢吹町							
譲渡人 (設定人) の氏名	大字・字	地番	地目		面積 m <sup>2</sup>	利用状況	10a当たり 普通収穫高	耕作者の氏名	市街化区域・市街化調整区域・ 非線引き区域・都市計画区域 外の別
			登記簿	現況					
△△ △△	××	□□番地	畑	畑	○○m <sup>2</sup>	普通畑	馬鈴薯3t	△△ △△	
計		1	筆		○○	m <sup>2</sup> (田	m <sup>2</sup> 、畑	○○	m <sup>2</sup> )

3 転用計画

(1) 転用の目的	(2) 権利を設定し、又は移転しようとする理由の詳細					
住宅用地	自己住宅の建築					
(3) 事業の操業期間又は施設の利用期間	令和〇〇年〇月〇日から永久年間 (一時転用の場合:平成 年 月 日から 月間)					
(4) 転用の時期及び転用の目的に係る事業又は施設の概要	工事計画	工事期間	令和〇〇年〇月〇日 ~ 令和〇〇年〇月〇日 ( 許 可 日 )			
		名称	棟数	建築面積 m <sup>2</sup>	所要面積 m <sup>2</sup>	備考
	土地造成			△△m <sup>2</sup>	開発区域内併用地面積を含む。	
	建築物	木造2階建住宅	1棟	〇〇m <sup>2</sup>	〃	
	小計			〇〇m <sup>2</sup>	△△m <sup>2</sup>	
	工作物				開発区域内併用地面積を含む。	
	小計					
計		1棟	〇〇m <sup>2</sup>	△△m <sup>2</sup>		

4 権利を設定・移転しようとする契約の内容

権利の種類	権利の設定・移転の別	権利の設定・移転の時期	権利の存続期間	その他
所有権	設定 <u>移転</u>	令和〇年〇月〇日	令和〇年〇月〇日から永久	

(様式第8-2号-4)

5 資金調達についての計画

収入		支出	
自己資金	1,500万円	用地費	330万円
借入金	2,000万円	造成費	100万円
補助金		建築費	3,070万円
( )		( )	
( )		( )	
計	3,500万円	計	3,500万円

6 転用することによって生ずる付近の土地、作物、家畜等の被害の防除施設の概要

土砂の流出等の災害を防止するための措置:

土地の造成にあたっては、隣地との境界にコンクリート壁を設けてから行います。また、隣地の水田については地主に境界するとともに、工事の説明をしてから着工します。この転用において周囲に被害を及ぼした場合は、責任を持って対処します。

農業用排水施設の有する機能に支障を及ぼさないための措置:

排水は公共下水道に排出し、被害のないようにします。

周辺の農地に係る営農条件(集団農地の蚕食又は分断、日照等)に支障を及ぼさないための措置:

生産性の低い農地であり、影響は軽微である。

7 その他参考となるべき事項


(記載要領)

1 「当事者の氏名、住所及び職業」

- (1) 氏名(法人にあってはその代表者の氏名)を自署する場合には、押印を省略することができます。
- (2) 法人である場合には、「氏名」欄にその名称及び代表者の氏名を、「住所」欄にその主たる事務所の所在地を、「職業」欄にその業務の内容をそれぞれ記載してください。
- (3) 代理人が申請の手続きを代理して行う場合は、余白に「代理人」として、「行政書士の氏名、行政書士の印(本人が自署する場合は省略することができます)、職業(行政書士)、事務所の所在地」を記載してください。
- (4) 譲渡人が2人以上である場合等には別紙として作成し、様式第8-2号-1と様式第8-2号-2の間に綴り込んでください。

2 「許可を受けようとする土地の所在、地番、地目、面積、利用状況、普通収穫高及び耕作者の氏名」

- (1) 「利用状況」欄には、田にあっては二毛作、一毛作の別、畑にあっては普通畑、果樹園、桑園、牧草地又はその他の別、採草放牧地にあっては、主な草名又は家畜の種類を記載してください。
- (2) 「10a当たり普通収穫高」欄には、採草放牧地にあっては、採草量又は家畜の頭数を記載してください。
- (3) 「市街化区域・市街化調整区域・未線引き区域・都市計画区域外の別」欄には、申請地が都市計画法による市街化区域(用途区域名を含む。)、市街化調整区域、未線引き内用途区域(用途区域名を含む。)、未線引き内用途区域外又は都市計画区域外のいずれかを記載してください。
- (4) 「譲渡人の氏名」欄は譲渡人の順に名寄せして記載してください。

3 「権利を設定・移転しようとする契約の内容」

権利の種類が複数ある場合は、複数段に記載してください。

4 「転用することによって生ずる付近の土地・作物・家畜等の被害の防除施設の概要」

災害(土砂の流出又は崩壊、ガス、粉じん又は鉱煙の発生、湧水、捨石等)を防止するための措置、農業用排水施設の有する機能に支障を及ぼさないための措置等周辺の農地に係る営農条件(集団農地の蚕食又は分断、日照、通風、農道、ため池等)に支障を及ぼさないための措置を記述してください。

5 「その他参考となるべき事項」

- (1) 以前、転用許可を受けたが工事未完了案件がある場合には、転用許可日、工事の進捗状況、未完了の理由及び完了させる見込みを記述してください。
- (2) 申請に係る土地が市街化調整区域内にある場合には、転用行為が都市計画法第29条の開発許可及び同法第43条第1項の建築許可を要しないものであるときはその旨並びに同法第29条及び第43条第1項の該当する号を、転用行為が当該開発許可を要するものであるときはその旨及び同法第34条の該当する号を、転用行為が当該建築許可を要するものであるときはその旨及び建築物が同法第34条第1号から第10号まで又は都市計画法施行令第36条第1項第3号ロからホまでのいずれの建築物に該当するかを、転用行為が開発行為及び建築行為のいずれも伴わないものであるときは、その旨及びその理由を、それぞれ「その他参考となるべき事項」欄に記載してください。

